

PT・OT・STのための 「気管吸引」「吸引以外の排痰法」実践セミナー in 横浜

講師

大江元樹 先生 もとき内科クリニック院長（呼吸器学会専門医・指導医）
阿萬由香 先生 湘南藤沢徳洲会病院看護師長（集中ケア認定看護師・特定看護師）
堀越一孝 先生 湘南藤沢徳洲会病院理学療法士（認定（呼吸）理学療法士・呼吸療法認定士）
渡邊宏樹 先生 湘南藤沢徳洲会病院理学療法士（Knowledge Link代表・PT・呼吸療法認定士）

気管吸引のトレーニングの場は極めて少ないのです。

平成22年の厚労省医政局長通知により、理学/作業/言語聴覚療法に伴い発生する喀痰については、チューブによる吸引行為が許可されました。その前提として「養成機関や医療機関等において必要な教育・研修等を受けた理学療法士等が実施すること」が求められています。しかし実際には、喀痰吸引における教育研修の場はごく少数で、しかも吸引操作（手技）のトレーニングにのみ特化したものがほとんどです。

医師や看護師による講義・実習がどうしても必要です。

2013年に日本呼吸療法医学会が公開した「気管吸引ガイドライン2013」では、喀痰吸引の実施者には、呼吸器系の解剖学、病態生理、胸部理学所見など、かなり細かい医学的知識の習得が求められています。加えて、器具の使用法や感染管理の知識も不可欠です。本来これらの内容に精通した医師や看護師による講義が必須と考えられます。

吸引以外の排痰法。吸引そのもの以上に重要かもしれません。

一方で、「気管吸引ガイドライン2013」では、「侵襲の少ない排痰法（呼吸理学療法など）の方法を知り実践できる」ことも必須とされています。吸引操作には慣れていても、侵襲の少ない排痰法を実践できる看護師は多くありません。

国内屈指の呼吸療法チームによる実践セミナーです。

本セミナーでは、これらのタスクを網羅するため、この領域において国内第一人者である呼吸器学会専門医・指導医の大江元樹先生を中心に、集中ケア認定看護師の阿萬由香先生、呼吸療法を専門とする理学療法士の堀越一孝先生のチームをお招きして、呼吸器系の基礎理解・胸部理学所見のアセスメント・感染管理と吸引操作・吸引以外の排痰援助をキーワードとした実践的な講義・実習を行って頂きます。

セミナー内容

対象：PT / OT / ST / その他

5月18日（土）

呼吸器系の基礎理解と喀痰吸引の全てを学ぶ！

- ①呼吸器系の解剖生理を理解する一咽頭・喉頭・気管を動画で見よう！
- ②口腔内吸引の基本一痰はどこにあるのか？
- ③危険な口腔内吸引—いつ吸引圧をきりますか？患者さんの病態を理解していますか？
- ④気管吸引概略—気管吸引ガイドラインを読み解く
- ⑤吸引に必要なフィジカルアセスメント—聴診のプロになろう！
- ⑥清潔操作をマスターしよう
- ⑦気管切開チューブ・挿管チューブ内吸引の実習
- ⑧シュミレーターによる口腔内吸引（経口・経鼻）の実習
- ⑨参加者同士の吸引実習—患者体験が一番重要です！
- ⑩質疑応答

5月19日（日）

吸引以外の排痰援助の全てを学ぶ！

- ①なぜ排痰援助は必要か
- ②排痰援助は、「気管吸引ガイドライン」ではどのような位置づけか
- ③様々な排痰援助の方法—体位排痰法・スクウィーピング・バイブレーション・パーカッション・ポストリフツ・その他—
- ④咳の応用や器具を使った排痰援助—ハフティング・インセンティブスパイロメトリ・アカペラ・その他—
- ⑤新しい排痰機器をどう使いこなすか—カフアシスト・RTX・スマートベストを中心に—
- ⑥ケーススタディー
- ⑦参加者同士の排痰援助実習—スクウィーピング・スプリングング・ポストリフツ・新しい排痰機器を中心—
- ⑧質疑応答

日時

2024年5月18日（土）/ 5月19日（日）10:00～16:00（9:30受付開始）

ウィリング横浜 11階多目的室 横浜市港南区上大岡西1-6-1

1名での受講の場合 / 片日受講13,000円/人 両日受講24,000円/人
3名以上での受講の場合 / 片日受講12,000円/人 両日受講22,000円/人



ウィリング横浜

お申し込みは **Webサイト** で賜ります

ナレッジリンク

検索

<https://www.knowledgelinkreha.com>



ナレッジリンクHP